

お茶の食育（茶育）の取組事例 ①

- (1) 茶育提供者名（所在市町村）：お茶の井ヶ田株式会社（宮城県仙台市）
(2) 茶育取組者名：宮城県仙台市立沖野東小学校
(3) 取組の内容：

お茶についての授業及びお茶の淹れ方教室にて、緑茶の効能や美味しい淹れ方などを説明するとともに、**一人一人に急須をプレゼントし、お茶を淹れる体験を実施。**また、**子ども達を対象に「急須で淹れたお茶を飲んだことがあるか」などのアンケートを実施。**



茶育の様子



- (4) 取組の成果：

①授業を受けた子供様の感想

- ・急須でお茶を入れることがなかったので勉強になった。
- ・お茶に淹れ方があることを知らなかった。・お茶の効能を知れて、お茶が好きになった。
- ・ペットボトルよりも急須で淹れた方が匂い、味が異なりびっくりした。
- ・自宅に家族に淹れたときに沢山お話ができた。

など

②アンケート結果

急須などの茶器で淹れたものを飲んでいる子供が9%増。自分でお茶を淹れる子供が19%増という**良い結果が出ている**。他校も含め実施した学校全体でも上昇。

③今後について

子供、保護者の方から大変好評。学校からも喜んでいただいている。授業にて急須をプレゼントしているので、**継続してお茶をのんでもらえるような授業を今後も実施していきたい。**

お茶の食育（茶育）の取組事例 ②

- (1) 茶育提供者名（所在市町村）：宇布乃園（静岡県浜松市）
(2) 茶育取組者名：愛知県豊川市立一宮南部小学校
(3) 取組の内容：お茶のエプロンシアター（エプロンの上で繰り広げられる、**お茶のパワーの話を伝えるオリジナルの人形劇**）、煎茶・烏龍茶・和紅茶の飲み比べ及びおいしい淹れ方



- (4) 取組の成果：茶育に取り組んだ学校からの以下のような**前向きな感想があった**。

【学校からの感想】

心温まる素敵な日本茶の講座を開催していただいたことにより、「1杯目と色が違って色が強い」「甘い感じがする」「味が大きくなった」と、**子どもたちそれぞれが自分のもっている言葉でお茶を表現する姿**や「おいしいね」「いいにおい」「もっと飲みたい」と、**お茶のおいしさを感じる姿**など子どもたちの素敵な姿をたくさん引き出していただけました。エプロンシアターも子どもたちにこにこ。楽しくお茶の良さを感じることができました。



こども達が急須でお茶を淹れる様子



エプロンシアター



お茶の食育（茶育）の取組事例 ③

- (1) 茶育提供者名（所在市町村）：才木祥子氏（山口県宇部市）
(2) 茶育取組者名：宇部市内小学校5校（R5年度）
(3) 取組の内容：

「家でお茶を淹れてみたい気持ちになること」「地元宇部のお茶に興味を持つこと」を目標に、宇部で生産されている煎茶やほうじ茶など4種類のお茶を紹介するとともに、お茶の美味しい淹れ方を学習。



- (4) 取組の成果：

生徒達は、自分たちが淹れた温かいお茶と、日本茶インストラクターの才木さんが用意した水出し茶を飲み比べを実施。「冷たいお茶が甘かった」「温かいお茶が美味しかった」などの感想が飛び交い、それぞれに甘みや苦みなどのお茶の味の違いを感じているようだった。授業後のお手紙では、お土産に持って帰ったお茶を家族に淹れたら喜んでもらえたといった感想もあり、家庭でのお茶を淹れる機会になったと感じている。



お茶の食育（茶育）の取組事例 ④

- (1) 茶育提供者名（所在市町村）：佐伯市立本匠中学校（大分県佐伯市）
(2) 茶育取組者名：同上
(3) 取組の内容：

総合的な学習の時間の中で、地域の方の協力のもと、全校生徒及び教職員で学校の茶園活用して、お茶に関連した以下の取組を実施。

<令和5年まで>

- ・茶園の草取りや肥料やりなど整備。
- ・地域の方に伝統的な釜炒り茶作りの体験をさせてもらう。
- ・地域の製茶工場を見学。製茶されたお茶に生徒が作った本校のラベルを貼り、地域の方等に販売。
- ・「茶話会」において、地域の方からおいしいお茶の淹れ方について学ぶ。などに取り組む。

<令和6年には>

- ・地域の方と行う「茶摘み」及びその後の「茶話会」に初めて高校生を招く。
- ・地元のカフェの店長と協議しお茶を使った新商品（おいしいクッキー）を考案。
- ・「市新茶まつり」でお茶を使ったクッキーの販売や、お茶を使った染め物作りの体験コーナーを開催。などに取り組むとともに、引き続き、茶に関する取組を予定。



地域の方々を交えた茶摘みの様子

- (4) 取組の成果：

茶育の取組を年を経るごとに進化（深化）させている。地域の方の協力を得て、学校の伝統行事として行われてきた「茶摘み」のみの活動から、地域の特産物であるお茶の利活用を考えるなど、生徒が主体となった地域貢献、お茶の普及促進の取組へと変化してきている。

また、お茶を通して他校（県内の高校）との交流も広がってきている。

お茶の食育（茶育）の取組事例 ⑤

- (1) 茶育提供者名（所在市町村）：お茶の芳香園（福岡県大牟田市）
- (2) 茶育取組者名：大牟田市内の小中学校親子（参加者の兄弟姉妹含む総勢50名）
- (3) 取組の内容：

「日本茶のある日常を取り戻す！」のテーマのもと、

- ・親子で楽しむ急須でお茶淹れ体験
- ・お茶（ペットボトル茶と水出し緑茶）の飲み比べ体験
- ・抹茶を点てる体験

などを実施。

また、クラウドファンディングで支援を募り、急須や茶葉などの家庭で日本茶を愉しめるセットを作成、お茶育イベントで子ども達にプレゼント。



- (4) 取組の成果：

お茶育に取り組んだ方々からの以下のような前向きな感想があった。



【参加者からの感想】

- ・ 今回の体験を機に**家庭の中にお茶のある暮らしを取り入れていきたい**です。
- ・ 今朝はこどもがお茶を淹れてくれました。**我が家もお茶がある家庭**にしていきます。
- ・ **こどもが母の日にお茶を淹れてくれました**。淹れ方の手順の説明書を読みながら懸命に淹れてくれて、こんなに美味しいお茶は初めてで「毎日お茶を淹れてあげる」と言ってくれました。
- ・ イベント明けの日曜日、息子がお茶を淹れてくれました。習った手順をきちんと守る子ども達が淹れたお茶は、甘くて香りも段違い。素敵な経験が**日常の当たり前の風景に馴染んでいける**といいなと思います！
- ・ イベントから帰ってきてすぐに娘がお茶を淹れてくれまして、今朝も淹れてくれました！甘めにするよ！なんて言いながら。**このまま習慣になってくれたら嬉しい**です。
- ・ お茶を通して**親子のコミュニケーションも増えて**良いこと尽くしです！



20組の親子が参加



急須でお茶を淹れる体験



感想をヒアリング